

# 司書のオススメ本

## 『山陽電気鉄道百年史』

山陽電気鉄道株式会社（編）

配架場所：一般書架

請求番号：686.2||SAN

「社史」とは、会社の歩みをまとめた図書のことですが、一般的には流通していないので、目にすることが少ないですね。「社史」と聞いてまず思い出したのは、三浦しをんの『星間商事株式会社社史編纂室』。近大姫路大学の教職員および学生の皆さんの貴重な足として大活躍している山陽電気鉄道株式会社には、一体どんなドラマが過去にあったのでしょうか。実は昔はプロ野球団を運営していたという驚きの事実が！？様々な事業展開を経て、今の山陽電気鉄道株式会社が存在することに気付かされます。のどかでのんびりとした雰囲気を持つ山陽電車。「社史」を紐解くことで、ますます愛着が湧いてくるでしょう。

## 『つくってあそぼう 12 塩の絵本』

たかなしひろき（へん） さわだとしき（え）

農文協

配架場所：一般書架

請求番号：669||TAK

今大学が建っている場所は、昔は塩田だったとか。大塩の地名の由来にもなっていますが、実際の塩田跡地そのものが残っていないのが非常に残念ですね。この本を読んで、塩とともに生きてきた大塩の人々に思いを馳せてみましょう。農文協から出版されているこの「つくってあそぼう」シリーズは、児童書ではあるものの、大人でも楽しめる内容になっています。挿絵を様々な絵本作家が担当しているのも魅力の1つです。また、図書館には、大塩出身である井上龍彦先生のお父様が描かれた絵を展示してあり、大塩の塩田風景を垣間見ることができます。こちらもお覧下さい。

## 『姫路の祭り屋台』

神戸新聞総合出版センター

配架場所：一般書架

請求番号：386.164||OKA

仕事を休む理由に、「祭り」が許されるほど、姫路の人々が祭りにかける思いは熱いのです。屋台の維持費がかさむ、担ぎ手がないなどの理由で、祭りそのものが廃れる地域が多い中、姫路の祭りだけで、1冊の図書ができてしまうのは驚くべきことだと思います。大塩からも近い白浜の宮で執り行われる「灘のけんか祭り」は、ふんどし姿の男衆が豪華絢爛な屋台を練り合います。その辺の祭りとは迫力が違いますので、まだ見たことがない人は、大学生のうちに見ておきましょう。また、大学の近所にある「大塩天満宮」の秋祭りで見られる「獅子舞」も、見応えがありますので、こちらもお忘れなきよう！

## 『桂米朝私の履歴書』

桂米朝（著） 日本経済新聞社

配架場所：一般書架

請求番号：779.13||KAT

姫路出身の有名人といえば、アイドル松浦亜弥・・・ではなく、落語家桂米朝でしょう。上方落語を復興させた立役者であり、人間国宝にも認定されています。有名な弟子も多く輩出し、タレント活動をしている桂ざこぼも、そのうちの1人。桂ざこぼが若かりし頃、桂米朝に子守りを任されたときのエピソードは面白いですよ。NHK 朝の連続ドラマ「ちりとてちん」で一躍落語が取り沙汰されましたが、学生の皆さんは興味のない方が多いのではないのでしょうか。ぜひこの機会に、姫路が生んだビッグな男の歴史を辿ってみませんか。